



なんが

# 議会だより

第43号

平成27年6月議会

発行 平成27年8月1日



ふれあい花壇

- 6月定例議会……………2
- 一般質問ダイジェスト……3
- 陳情・請願の審査結果……7
- 住民の声をきく会……………8
- 行政調査報告……………8
- 臨時議会……………9
- なつかしの我が校舎………10

## 『地域創生の礎』

# 一般質問ダイジェスト

**町長** 木のおもちゃについては、誕生祝い品としてではなく、子育て応援事業の取り組みの一つとして子育て行事

平成18年7月に閣議決定された森林・林業基本計画において、「木材のよさやその利用の意義を学ぶ木育」というべき木材利用に関する教育活動を推進する」としている。そこで、誕生祝いとして木製玩具の贈呈や、学校の机・椅子を木製に替えることはできないか伺う。



杉谷

## 木育

Q

日常的に木材に触れ合える場面を

A 多様な取り組みの場を進めていきたい 町長

や講演会に参加された方にポイントを付与し、そのポイントに応じて4種類の品の中から希望されるものを渡しているが、その中の一つに木のおもちゃを入れている。県においても、平成27年度から鳥取県木育推進事業をスタートしている。こうした状況の中で、これを機に子どもが木の持つぬくもりに触れる多様な場をつくる取り組みをもっと進めていきたいと考えている。

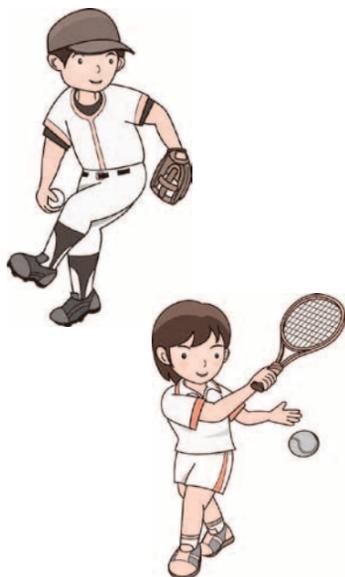


木製おもちゃ 一例

**教育長** 身近な暮らしの中で木を感じることは、我が国の歴史や文化、自然や環境とも密接につながる大切な視点

このような状況下、放課後の活動に影響が出始めているがその対応・対策を伺う。

**教育長** スポーツ少年団については、原則一種目一活動部としてさらなる減少に対応するとともに、団員の年齢制



井田

## 小・中学校の放課後活動

Q

少子化による影響の対応・対策は

A スポーツ環境の整備・部活動体制の構築 教育長

限を厳格化することが必要であると考える。その基準に満たない子供については、スポネットなど連携した多様なスポーツ環境の整備に努めたいと考えている。中学校の部活動については、今後の生徒数の推移により、学校統合も選択肢の一つとして視野にない。当面は両中学校生徒による合同の部活動や活動種目の分担等、

# 6月定例議会

賛成多数で可決

平成27年6月定例議会が、12日から19日までの会期で開催され、平成27年度の一般会計補正と条例の一部改正2議案と6発議が審議され、1発議が否決された以外はすべて可決されました。

## 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に75,161千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ7,058,041千円とする。

### 防災拠点等への再生可能エネルギー等導入推進事業・・・30,334千円

西伯病院に太陽光パネル(20kW)及び蓄電池(16.2kW)を設置することで、地域防災計画の地域医療機関の拠点としての推進。

質問 災害時における効果について。

回答 蓄電を1Fロビーでの非常用電源として利用する。

### 里山コーティネート事業

・・・300千円

地域おこし協力隊が「地域の元気をつくる庭先集荷制度」の推進。



質問 採用後これまでの実績と検証は。

回答 中山間農業生産者へのアンケートの実施や給食食材集荷等で認知され、実績が現れてきたので、更に庭先集荷を推進させたい。

### 個人番号カード交付事業・・・5,647千円

10月から開始する事業の関連事務経費。

質問 マイナンバー制度の安全性は担保されているのか。

回答 制度面、システム面でも安心安全の仕組みとなっている。

### 南部町イメージ戦略事業

・・・1,976千円

イメージ戦略策定会議に100人委員会の中間とりまとめに対する検討と追加事業の委託料。

質問 今後の事業をどのように進め、成果を次年度以降つなげていくのか。

回答 観光、イベント、特産品3分野について、専門的に戦略をまとめたい。次年度以降は、町内事業者とも調整を図りながら、できるものから着実に実現していく。

(反対意見)  
① イメージ戦略が本当に町のこれからの活性化につながるのか、疑問である。  
② マイナンバー制度はいろいろな個人情報を行行政一般に利用することじたい、許しがたいと思う。  
(賛成意見)  
① イメージ戦略事業は100人委員会での検討がまとまりつつ、具体化するための補正予算である。  
② マイナンバー制度については、年金情報流失があり危惧するが、国の対策に期待している。

### 国民健康保険税条例の一部改正について

国保運営基金も底をついたのが現状です!

平成27年度国民健康保険税の税率決定に伴う改定で、医療、後期高齢、介護分の所得割、均等割、特定世帯、特定継続世帯の税率及び賦課額を改正する。

残った基金(2,400万円)を全て投入して、一人当たり平均年間2,837円の負担増となる。賛成多数で可決されました

道の駅構想の進捗状況は

年内には設置に向けた検討委員会を 町長



三鴨

三鴨 昨年の3月議会、国道180号バイパスに町の観光PRと農産物や特産品の販売拠点となる道の駅の設置を検討すべきではないか。と一般質問のなかで提案したが、その後一年が経過した現在までの検討状況を伺う。

また、今後の動向と手順についても伺う。

町長 昨年6月に鳥取県が調査した交通量調査では、日量で6500台が南部バイパスを通行しており、旧国道は

5500台であった。平成22年の交通量から見ると約1000台が増加している。今年3月に、なんぶ創生100人委員会を立ち上げた。その中で道の駅についても検討をお願いしている。観光分科会では「大山が見える国道180号バイパス沿いに観光案内所を持った道の駅」といった前向きな議論がされており、有意義な意見集約ができるものと考えている。

今や道の駅は、地域の抱える課題を解決する地方創生に資する拠点としての役割を求められている。こうした観点からも町のいろいろな課題解決に役立つ道の駅整備を、地域住民の皆さんの参画を得て進めていきたいと考えている。



国道180号線(南部バイパス)

今後は、100人委員会での意見を参考に、年内には道の駅設置に向けて一歩進んだ検討委員会を立ち上げ、実現に向

英会話能力の充実を

公民館事業として行いたい 教育長



白川

白川 グローバル時代の到来により、産業界から教育界へ次世代を担う子供たちへの英語によるコミュニケーション能力の充実が求められている。

そこで、小・中において教育施策(まち科)などのプログラムを活用して、英語に親しめる環境をさらに充実できないか伺う。



教育長

児童生徒の英語力については、国の第2期教育振興基本計画でもグローバル人材の育成が示されている。平成32年度から小学校5・6年生において英語が教科化され、3・4年生では、それを見込んだ授業になる。

中学校では、日本語を一切使用しない形での実施が予定されている。よって、現場では、学習指導要領に沿って行うことになり、(まち科)との関わりは想定していない。



住民の声をきく会

住民の意見を町政に反映させよ

可能なことには対応する 町長・教育長



亀尾

町議会は5月から、「住民の声をきく会」を開催した。そこで出された意見をもとに見解を問う。

①公民館はいく分館は、雨漏りで使用不能の部屋がある。緊急に修繕をするべきである。②同分館に社会教育主事を配置すべきではないか。③農業振興のため、町独自の支援策が必要ではないか。④旧すみれ保育園の利用方法は、町民の声を集め検討し直すべきだ。

⑤町の非正規職員の比率は高い。是正すべきだ。⑥循環バスは空席が多い。年齢を区切り無料化の検討を求めたい。⑦行政要望に回答が遅く、回答も説明不足だ。改善を求める。

教育長

①雨漏りは必要対応をする。②地域振興協議会と連携して、現体制で活動を支える考えだ。③現段階で町単独の支援策は考えていない。

町長

④旧すみれ保育園の活用は、再度あり方検討会と、子ども・子育て会議で検討をお願いする考えだ。



住民の声をきく会(法勝寺地区)

行政と住民のコミュニケーション

町版パブリックコメントの実施要領を

制定を考えている 町長



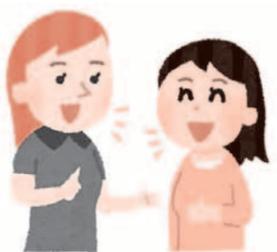
米澤

最近、朝金樹園地の防災無線屋外子局の地元合意を得ないでの撤去、児童保育所の移転問題等、行政施策と住民との思いにミスマッチが見受けられる。原因は、施策立案時に住民の意見を聞かないことが原因と考えられる。

その根源はどこにあるのか伺う。また、県では、パブリックコメント実施要領を制定し、県民に広く意見を求めている。南部町版パブリックコメント実施要領を制定する考

えはないか伺う。防災行政無線の屋外子局については、デジタル化に伴いシステム変更をするに当たり、設置位置を見直した。防災行政無線の基本的な考え方に基づいて行った。児童保育所の移転については、廃止となったすみれ保育園を要望のあった児童館としての活用と、児童保育も児童館との併設を考え、子ども・子育て会議に提案し、意見を伺って進めていた。児童保育には異論もあり、実際に携わる人たちの意見を聞いて、その意見をもう一度子ども・子育て会議に返す結論となっ

いた。突然、こういう問題が起こったのは意外だ。パブリックコメントは、過去にもホームページによる意見募集、利害関係者の意向調査、地元関係者との意見交換会など意見聴取を行って来ている。今後は要綱等を制定し、その基準や実施方法、公表のあり方等を取り決めていきたい。



農業用ため池

景山 浩議員

維持管理支援の強化を

要望への対応に努力したい

町長



**景山** 農業用ため池は事業用の施設で、従来から維持管理は水利関係者においてなされてきた。

しかし、農家の減少や高齢化によりその状況は大きく変わってきている。関係農家が減ったり、全くおられなくなった。管理が不十分で放置されている農業用ため池も増えている。水田維持や防災の観点からも、維持管理面の支援を強化すべき時期に来ていると考えるが、町の考えはどうか。

**町長**

現在町内で利用されているため池は137か所あり、個々のため池の情報は台帳で管理している。最近では放棄される水田が多く、利水の必要が少なくなり防災上の観点からため池を廃止したいという相談も出てきている。

少ない農家のため池の維持管理をされるのは気の毒だが、災害復旧時に一部負担をいただいているように、受益者負担は原則的な考え方が公共性も非常に高いと思っている。町も関係者の要望に耳を傾けて対応できるように努力したい。



開削された堤

学童保育施設

眞壁容子議員

プラザ西伯で続行を

今のような方法での続行は可能だ

町長



**眞壁** 学童保育併設の法勝寺児童館の計画は、反対の声が大きく上がっている。今年度の改修、開設が保留となった。多くの声は、現行のプラザ西伯で学童保育を続けてほしいという願いだ。今後の取り組みを問う。

これまでの保護者や指導者の声をどう把握しているか。プラザ西伯で学童保育を続行することはできないか。児童館併設ではなく、学童保育専用施設の設置を求める。

**町長**

1242名の反対署名が議会に提出され、プラザ西伯で放課後児童クラブの実施を求める嘆願書も提出されている。南部町子ども・子育て会議では、児童館に学童クラブを併設することには全員理解は得られていない。運営協議会を立ち上げ見直しを図ることを前提に改修に臨むという意見を頂戴している。



ひまわり学級

プラザ西伯を現在も利用しているのが今のような利用方法での続行は可能だ。機能的には不便だと思っている。専用施設については今回立ち上げる検討会や、子ども・子育て会議などの意見を参考にしたい。

○その他の質問  
平和安全法制  
地域振興区

住宅リフォーム助成

植田 均議員

地元業者が元気になる施策を

現状の施策で活性化に役立っている

町長



**植田** 政府はアベノミクスの効果を地方に行き渡らせるとして、「地方創生」を言っている。

雇用や仕事の創出は、地元を根を張り頑張っている中小・零細業者に元気をだす必要がある。熊本市多良木町では住宅リフォーム助成制度をつくり、4年間で420件の事業が行われ、補助金の8倍の工事費、経済波及効果はその数倍と報告されている。

する目的の一つがこの助成制度だ。全国的に効果が上がり、町長も有効性を認めている住宅リフォーム助成制度の創設を、真摯に検討するべきだ。

**町長** 住宅リフォーム事業について有効性を否定しないが、中小業者への支援というより個人財産への支援の意味合いが強いことから、導入を見送ってきている。

○その他の質問  
TPP、農協改革  
米価対策

町では同様の目的



リフォームされた洗面コーナー

民生教育常任委員会

件名及び要旨	提出者(敬称略)	採択結果	可否の理由
陳情第4号 放課後児童クラブ(ひまわり学級)移転に関する陳情書	放課後児童クラブ(ひまわり学級)保護者会会長 荒木 佐代子	趣旨採択 (趣旨採択多数)	(採択すべき意見) 町の対応がまずい。子ども・子育て会議で学童は見直しを図るようという意見にも拘らず移転の話が先行している。今のやり方では住民の要求がまったく反映されていない。 (趣旨採択すべき意見) 移転について、担当課の保護者への説明の欠如、不足はある。これから「あり方検討会」を開催される。ほかの方の意見も聞く必要があり、趣旨採択が適当
請願第5号 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	全日本年金者組合 鳥取県本部委員長 増田 修治 西部支部支部長 松本 正孝 紹介議員 亀尾 共三	不採択 (賛成少数)	(賛成意見) マクロ経済スライドによる年金削減をやめるべき。最低保障年金制度は、無年金者の救済を目的とするものである。 (反対意見) 年金制度は、世代間で負担するものである。現役世代が減少する中でより多くの負担を現役世代に求めるものであり反対。

議案番号	案件名	審議結果
議案第48号	南部町国民健康保険税条例の一部改正について	賛成多数で可決
議案第49号	平成27年度南部町一般会計補正予算	賛成多数で可決
発議案第9号	ヘイトスピーチの禁止等に関する法の整備を求める意見書	全員一致で可決
発議案第10号	地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	全員一致で可決
発議案第12号	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書	全員一致で可決
発議案第13号	安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の国会での成立に反対する意見書	賛成少数で否決

## 臨時議会

5月18日(月)に原工業団地再整備事業について臨時議会が開催されました。  
**賛成多数で可決**

### 【事業費及び財源】

鳥取県工業団地再整備補助金を活用	
県補助金	65,940千円
一般財源	73,940千円
<b>事業費</b>	<b>139,880千円</b>

(反対意見)  
現在使用されて  
いない工業団地  
内施設、土地も  
あるので、増床  
場所を十分に検  
討すべきである。  
(賛成意見)  
企業の増床で雇  
用の確保と地方  
創生が加速する  
危険個所の解消  
で地元の安心安  
全にもつながる。

誘致企業NOK株の増床に伴い、工場用地が必要となった。地元から危険なため池として廃止要請があがっていた深塔池ほか一か所のため池を埋立て、社員の駐車場として整備する。



原工業団地と埋立て池(2か所)

7月15日(水)に原工業団地再整備事業の契約の締結について臨時議会が開催されました。

**賛成多数で可決** **臨時議会**

### 【審議の内容】

原工業団地再整備事業の一環で池の埋立てによる用地造成に係る契約の締結。  
契約の方法 指名競争入札  
契約の金額 68,904,000円  
契約の相手方 (株)ティー・エム・エス

(反対意見)  
①契約金額の内訳の提示がなく説明責任を果たしてない。  
②県の残土を処分するの適切でない。  
③危険個所の見地から危険個所の解消が利用できる。  
④有料での残土処分は埋立て等残土の処分できないため土の処分する必要がある。

質問 5月の臨時議会で可決した事業費から半分近く減額されていることについて。

回答 当初は水が入っている状況での概算見積りで、実質の現状での埋立て土量が半減された。

## 議会活動日誌

5月	6月	7月	8月
14 木 全員協議会	1 月 住民の声を聞く会(東西地区)	1 水 議会行政調査(長野県)	8 水 県町村議会事務協議会県外研修会(広島県)
18 月 全員協議会 臨時議会	3 水 県町村議会議長会定期総会(6月期)	2 木 議会行政調査(長野県)	9 木 西部町村議会議長会臨時総会
19 火 住民の声をきく会(法勝寺地区)	4 木 住民の声を聞く会(南さいはく地区)	3 金 議会行政調査(長野県)	13 月 行政調査受け入れ 東京都北区議会 臨時議会
21 木 住民の声をきく会(天津地区)		6 月 議会改革調査特別委員会 広報調査特別委員会	15 水 臨時議会
22 金 西部町村議会議長会臨時総会 南部町商工会通常総会		7 火 県町村議会事務協議会県外研修会(広島県)	16 木 全国森林環境税創設促進議員連盟 第22回定期総会 新潟
25 月 議会運営委員会 住民の声をきく会(賀野地区)			17 金 全国森林環境税創設促進議員連盟 第22回定期総会 新潟
26 火 町村議会議長・副議長全国研修会			20 月 2015年原水爆禁止国民平和大行進
27 水 町村議会議長・副議長全国研修会			22 水 全員協議会
28 木 南部広域シルバー人材センター一定時総会			24 金 西部議会議長会正副議長局長研修会(大山町)
29 金 住民の声をきく会(手間地区)			26 日 西伯郡郡民体育大会水泳競技
30 土 板祐生記念館オープニングセレモニー NPO法人なんぶSANチャンネル総会			29 水 市町村議会議員研修【3日間コース】 地方議員のための政策法務(景山)
			30 木 市町村議会議員研修【3日間コース】 地方議員のための政策法務(景山)
			31 金 鳥取県西部広域行政管理組合議会臨時会 市町村議会議員研修【3日間コース】 地方議員のための政策法務(景山)

## 南部町議会 「住民の声をきく会」開催

開催日	場所	参加者
5月19日	公民館さいはく分館	7名
5月21日	ふるさと交流センター	9名
5月25日	福祉センター「いこい荘」	6名
5月29日	南部町公民館	9名
6月1日	東西町コミュニティーセンター	10名
6月4日	南さいはくふれあい会館	14名
6月9日	大園田園スクエア	21名
	合計参加者	76名



大園田園スクエア会場

(おことわり) 各会の冒頭で、議会へのご質問への回答を今回の議事報に掲載するとの旨をご説明しておりました。ところが、執行部への確認を要する案件、また議会として何らかの回答をするためには慎重な検討・調整を要する案件が多く、次号での報告・回答とさせていただきますようお願い申し上げます。

南部町議会では左記の日程で「住民の声をきく会」を開催し、延べ76名の皆様に参加いただきました。夕刻のお出かけに、夕刻の時間帯にご参加いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。

この会の目的は、各地区が抱える地域課題をはじめとして、議会や行政に対する意見等を住民の皆様から直接聞き取ることで、個々の議員や議会全体としての今後の活動、意思決定の参考とすることでした。

子育てや福祉、インフラ整備や農業問題、人口減少を踏まえた町の将来像など多岐にわたるご意見、ご提案をいただき、議員としての重責を改めて実感させられる思いがしました。今回いただきました貴重なご意見、ご提案を町制に反映させるべく議員活動、並びに委員会での検討を進めてまいります。

議会改革調査特別委員会 委員長 景山 浩

## 川上村

人口 4,080人  
面積 209.6Km<sup>2</sup>  
千曲川の最上流部に位置する。  
日本有数のレタスの産地。



レタ助



村一面のレタス畑

【農業収入増加策】農家一戸の平均収入が2,500万円と農業従事者の平均年齢が34歳、Uターン率も高い。家族経営によって効率化をはかり所得を増やす。  
【合計特殊出生率増加策】未婚女性との出会いの場を計画し、結婚率も高い。数世代同居で農業と子育てを容易にしていた。  
【少子化対策】路線バスの村営化で通学等に利用。図書館の24時間開館。



まっくん

【人口増加策】高速道路の開通によって企業の進出がすすみ、若者が自然的に増加した。定住・子育て支援策をこの時代から始め10年が経過した。今では「子育てするなら南箕輪村」と言われるようになった。  
【景観行政団体】宅地と田園風景の調和のとれた村づくりの推進で若者から高齢者まで住みたくなる環境整備を推進していた。

## 南箕輪村

人口 15,006人  
面積 40.9Km<sup>2</sup>  
県内で一番高齢化率が低い、唯一人口が増えている村。  
信州大学農学部のキャンパスがある。



南箕輪村での調査

## 行政調査報告

7月1日から3日まで、長野県川上村と南箕輪村で行政調査を行った。  
長野県は平成の合併が数少ない県であり、それぞれの旧市町村で特色ある施策による「地方創生」に取り組んでいる。

# なつかしの我が校舎

## 最終章

法勝寺中学校同窓会

会長 吉持 誠さん 談

母校法勝寺中学校が城山二の丸の麓に産声を上げてからやがて70年、昭和22年に開校した当初は校舎建設のため、材料であった石や砂を先生も生徒も男女区別なく“おいこ”に背負い学校前の橋の下から「汗だらけになって運んだ」と、当時の様子をその時代の先生や在校生であった先輩から聞いたものです。

戦後間もない時期、物はないが戦争の制約から解放され、平和な環境の中、明るい将来を展望し、新制中学校と云う新しい夢に、先生も生徒も一生懸命に力を合わせてこられたことがうかがえます。

このような、さまざまな開校時の困難を気概と情熱を持って支えられた先輩方の姿は、現在も脈々と受け継がれ、今の生徒も礼儀正しく、一生



旧法勝寺中学校

懸命さが伝わってきます。そして、先生と生徒のふれ合う姿は、開校当初に培われた、あの家庭的な雰囲気は変わることなく母校の伝統として顕在であり続けています。

同窓会の30期生までの皆さんは、母校といえは木造校舎が思い出される事と思います。

歴史を重ねつつ、装いも新たになった現在の校舎も数々の思い出を育てています。学舎はこの間、八千名余の同窓生を育て、各分野での活躍の礎となっていることは喜ばしい限りであります。

改めて法勝寺川沿いから校舎に目をやりながら母校の永遠を心から願う次第です。

### 表紙写真

## 『地域創生の礎』

法勝寺地区地域振興協議会「ふれあい部」の皆さんが活動の一環として、三本木橋(旧道入口)花壇整備と花植えの作業中にお邪魔しました。

過去、三本木老人会でお世話になっていましたが、異年齢交流を目的として一緒に手伝いをしていました。老人会の高齢化によって交流は途絶えています。が、今では部員のコミュニケーションの場として育ち、地域住民や沿道を走るドライバーの皆さんに「安らぎと癒し」を提供していただいています。

このような地道な活動が地域の協働意識の向上と活性化に繋がっています。「地域創生の礎」になっていると、振興協議会の内藤会長にお話をいただきました。



### あとがき

◆孫の習い事の付添でのごことです。椅子に座り幼い子どもの練習風景を見学していました。足の組み直しをしながら、どの保護者もニコニコし、時には、拍手や声援を送りながらリラックスしての一時間が終わりました。子どもたちは整列し、指導の先生に「ありがたうございました」と大きな声で挨拶をしました。すると、お見うけしたところ70歳前後のおじいさんが一人だけ立ち上がり、子ども達と一緒に頭を下げておられたのです。「大人の背中を魅せよう」の大人の振る舞いに、大人である我々もハッとさせられました。それからというもの、保護者全員が始めと終わりには、立ち上がりシツカリ頭を下げて挨拶をするようになりました。

心温まるひと時になりました。

(杉谷)

